

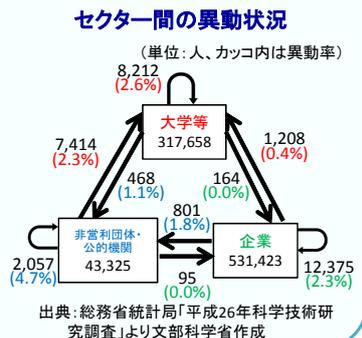
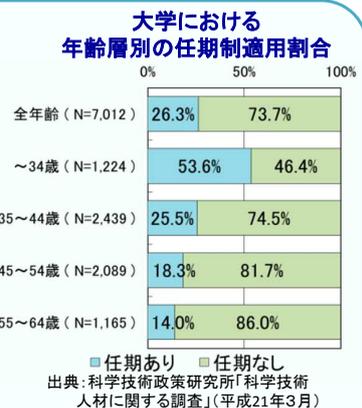
# 総合政策特別委員会中間取りまとめ

## 我が国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策について（人材関係抜粋） ～ポスト第4期科学技術基本計画に向けて～（総合政策特別委員会 中間取りまとめ）

### 第1章 基本認識

#### 第1期科学技術基本計画からの実績と課題

- 第1期から20年間にわたる取組によって、**研究者や特許等の量的規模、基礎研究や研究基盤の高い国際競争力は世界における我が国の大きな強み**に。これを一層強化していくとともに、有効活用が必要
- 他方、我が国の科学技術イノベーションを巡る課題は山積。例えば以下のようものが挙げられる
  - 若手研究者の**キャリアパスが不透明かつ雇用が不安定**。また、「**流動性の世代間格差**」等により、**人材が適材適所で活躍できていない**。これにより、**学生が博士課程への進学を敬遠**
  - 我が国の基礎研究の多様性が低下。また、論文に関して、質・量ともに国際的地位が低下傾向
  - イノベーション実現企業が諸外国と比較して少ないなど、**イノベーション創出に適したシステムが十分に構築できていない**。産学官の**セクターを越えた人材流動がほとんど起こっていない**ことが一要因
  - 第2期基本計画以降、政府研究開発投資目標は未達成。大学、研究開発法人の基盤的経費の減少は、安定的ポストの減少など様々な課題の一要因 等



- 国内外の課題を解決し、持続的発展を実現するには、科学技術イノベーションの推進が今後とも重要
- これまでの20年間の投資効果の最大化は、これからの科学技術イノベーション政策の成否にかかっており、第5期科学技術基本計画は、我が国にとって極めて重要な役割を担う

# 我が国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策について（人材関係抜粋） ～ポスト第4期科学技術基本計画に向けて～（総合政策特別委員会 中間取りまとめ）

## 第2章 今後の科学技術イノベーション政策の基本方針

### 科学技術イノベーションにおける政府の役割

#### (1)イノベーション創出基盤の強化

・多様な課題にスピード感を持って対応するため、科学技術イノベーションの基となるイノベーション創出基盤を強化

【**人材システム改革**、イノベーションの源泉たる学術・基礎研究と研究基盤の改革強化、新しいイノベーションシステム構築 等】

#### (2)科学技術イノベーションによる社会の牽引

・イノベーション創出基盤から生み出される様々な知識・価値を発展させ、国内外の諸課題を解決し、社会の变革を牽引

【政策課題の解決、望ましい超サイバー社会の実現、国主導の基幹技術開発、科学技術外交、社会からの信頼回復等】

## 第3章 イノベーション創出基盤の強化

### 人材システムの改革

#### (1)若手人材のキャリアシステムの改革

✓ 大学の新規若手教員採用時におけるテニュアトラック制の原則導入、**シニアへの年俸制導入や任期付雇用転換の促進**等を通じた**若手ポスト拡充、卓越研究員制度(仮称)の創設**等による**キャリアパスの明確化**

✓ 中長期のインターンシップ等によるマッチングの機会の充実を通じたキャリアパスの多様化

✓ 博士課程学生への経済的支援の充実、若手研究者が自立し活躍できる環境の整備 等

#### (2)科学技術イノベーション人材の育成

✓ 産業界等との連携の下での博士課程教育の充実などの大学院教育改革、高等学校・大学教育・大学入学者選抜の一体的見直しなど次代を担う人材育成と裾野の拡大、技術者の育成・確保 等

#### (3)多様な人材の活躍促進

✓ 女性リーダーの登用促進、外国人研究者の受入れ環境整備、外国人留学生への支援 等

#### (4)人材の機関、セクター、国を越えた異動の促進

✓ 年俸制やクロスアポイントメント等の**新しい給与・雇用制度の積極導入**、海外で活躍する若手への支援充実 等